

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4 年 2 月 18 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100348		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム 花咲楼		
所在地	広島市東区尾長東2-6-34 (電話) 082-568-7007		
自己評価作成日	令和4年1月21日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100348-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年2月16日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>① ご利用者様の誕生日には職員により、手作りケーキでお祝いをしている。 ② 庭に畑があり、ご利用者様と一緒に苗を植えたり収穫をしている。 ③ 週一度自由食の日があり、日頃食べておられない食事をご利用者様に聞いて提供している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>当事業所の理念である「相手本位の心」に添って、利用者が同じ事、例えば（繰り返し帰りたい願望）に対し、職員は常に初めて聞いた様に対応する等、相手の心に寄り添う支援を行っている。また配食会議を設け、楽しみ事の一つである食事を大切にしている。コロナ禍で外出支援が難しい時期、庭や畑で外気にふれる等、工夫しながら日々の支援に取り組んでいる。利用者が重度化した場合、協力医及び職員は積極的にターミナルケアに取り組んでいる。災害対策に於いては、ハザードマップで、事業所の位置、危険性等を把握し地域及び市町と連携を取り、常に有事に備えている。更に当事業所は職員同士の信頼関係が構築されており、利用者に安心感を与え日頃のサービスに活かされている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	事業所の理念「相手本位の心」に基づきご利用者様には尊厳をもって受容と寛容の心で接していく。常に初心に戻る様、月一回のミーティングで議題にあげている。	法人の運営理念「相手本位の心」に基づいて職員は理念の意味合いを共有し、“心に寄り添う・安心できる場所”を実践に繋げる支援を行っている。管理者は考え方を、ミーティング等で補足し共有するよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	毎年地域の保育園の運動会に参加したり、夏祭りを開催し地域交流を深めていたがコロナ禍により中止を余儀なくされる。現在では近隣の方たちと挨拶を交わしたり、回覧板を持って行った際に言葉を交わすことを常に心掛けている。	事業所は町内会に加入している。コロナ禍に於いてはイベント等に出掛ける事が出来ない。時折庭の垣根越しに近隣住民と挨拶をすることはある。職員は地域の様子を見聞きしてきた事を、利用者に話し伝えるなど途切れない、地域交流の支援に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会にも月一回参加していたが、二年開催されず。ご利用者様のご家族が町内会の方の為、電話をして近況を聞いたり報告するよう努めている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議が開催できる月と出来ない月があり、ご家族様にアンケート用紙を送り、それを基に運営推進会議録を作成しご家族様に送付しご理解頂ける様努めた。	会議は同法人である隣の事業所と共に開催している。現在は書面会議の形式を取り、関係者が事前に意見やアドバイス（リモートやガラス越しの面会方法等）をもらいながら、共により良いサービスの向上に活かすよう取り組んでいる。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町へ出向く事が困難な為、必要時には電話等して連携が取れる様に努めている。	市町の担当者とは、議事録や報告の提出に終わっている。事業所がある地域は高齢者住民が多く、高齢者が道路で転んでいる時、事業者が地域包括支援センターと連携し救助する等、日頃から協力関係を築く取り組みがなされている。	

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設置しており、毎月ミーティング時に身体拘束について話し合いをする様に努めている。玄関等の扉は防犯上の理由からも電子ロックを使用している。	見守りに重点を置き日々のケアに取り組んでいる。またスピーチロックも職員間で注意しながら取り組んでいる。身体拘束委員会は3か月に1度全員参加で行われ、外部研修はリモートで各ユニットから1名参加し、情報を共有しながら身体拘束をしない支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待はどこまでを虐待というんのかミーティング時以外でも話し合える状況を作っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、グループホーム花咲楼では三名のご利用者様が成年後見制度を用いている。時間がある時は学ばせてもらっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際には内容をしっかりご説明し、ご質問にもご納得頂けるようお答えしている。リスクについてもご説明し同意書を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	来訪時や運営推進会議等でご家族様より頂いたご意見は真摯に受け止め、職員で共有し見直していく。ご意見箱も設置しており、どのような内容でも有難く頂き今後の運営に反映させていく。	事業所の玄関先に意見箱を置いているが、意見は殆どが来所時や電話等が多い。意見や要望（外出が困難な今、現状の体力維持を希望）を基に、職員はミーティングで話し合い、それらを運営に反映出来るよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度のミーティング以外でも職員からの意見や要望があり、その都度対応している。定期的に面談も実施しており、その中で出た内容も職員で共有し質の向上を目指す為の意見交換をしていく。	職員は、利用者目線で運営に関する意見を話し合い、ケアの工夫等様々な角度から検討している。研修や資格取得に於いても、法人は積極的にバックアップする体制がある。事業所は職員の意見が反映出来る取り組みを行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	半年毎に個人評価表に記入して頂き、それを基に職員一人一人のやりがいや職場に対するの思い、意見を聞く場を設けている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内外での研修はリモートで開催されている。質の向上を目指し研修で得た事は職員一人一人が技術や知識を身に付けていけるよう支援していく。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他同業者と現在の入居状況についての情報交換をする事もあり、交流の場を広めていく様、取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様、ご家族様から要望等が出た時は耳を傾けご納得頂ける様ご説明し、ご家族様と施設側との信頼関係を築いていく様に努める。		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様が困っている事、不安に思っておられる事を受け止め理解出来る様なご家族様との信頼関係を築いていく。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	サービス開始した時点で今まず何が必要かを本人、ご家族、職員、ケアマネージャーと情報を基にご本人様にとって必要な支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員とご利用者様という一くりにしないでお互いが共に過ごし学びあえる関係性を築ける様支援していく。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人様にご家族に電話したい、話したいと話された時は職員が素早く対応している。長らく連絡のないご家族様には施設側から連絡を取り、近況をお伝えしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	出入りが現在困難な為、リモートで会話したり、手紙を出したりと馴染みの人との関係継続に努める。	馴染みの場所に出掛ける事が困難な現状に於いて、家族など人との繋がりを大切に支援している。例えば季節の洋服を送付して貰った時、家族の話し(利用者に対する想い)を伝えたり、盆や正月には手紙を職員と共に書く等、途切れない心を大切に支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日中は出来るだけデイルームで過ごし、頂き職員を交えて折り紙を折ったり等、ご利用者様が孤立せずに共に楽しめる要支援していく。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設へ行かれたご利用者様の近況を聞いたり、ご家族様からの相談事にフォローしたりと支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員一人一人がご利用者様の思いや意向に関心を持ち、困難となった場合は話し合って意見を出し合って取り組んでいく様支援していく。	本人や家族から希望を聞き取り、例えば、食の形態を変えた事で、自分で食べる事が出来る様になったり、利用者がチラシで好きなみかんを見つけ、おやつ時間に提供する等、本人本位の支援が出来る様取り組んでいる。職員は情報を共有し意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活歴をしっかり把握し、自分らしく暮らしていきご利用者様と職員が馴染みの関係になる様支援していく。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	その人らしい過ごし方の中で、変化や気づきにいち早く見抜ける目を養っていく様努める。		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>カンファレンスの際は看護師と担当職員、ケアマネジャー、管理者同席の上ご家族様、ご利用者様の意向を聞きながら支援している。</p>	<p>計画書はケアマネジャーと管理者が、モニタリングや会議を通じて評価し計画を立てている。例えば計画が上手くいかない場合は、家族や職員の意見を聞き、アイデアを出し合って、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に日々の記録を細目に記入している。職員間で共有し、介護計画書に活用している。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>常にご利用者様のニーズに対応出来る様柔軟な支援を心掛けている。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域保育園に出掛けたり買い物に出掛けたりしていたがコロナ禍の中、地域の方との交流が出来ておらず職員が入りする際に挨拶する様努めている。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>定期的に主治医の往診があるが、ご利用者様、ご家族様の意向でかかりつけ医での医療を受けられる様支援している。</p>	<p>かかりつけ医（協力医）は認知症に理解が深く、2週間に1度来診に訪れ利用者の殆どが受診している。入院や他科受診も医師のもとに行っている。歯科医に於いても同じで、看護師は常駐しオンコール対応している。薬剤師も2週間に1度来所し、適切な支援体制を確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は日々のご利用者様の変化、異常と感じた事は速やかに看護師、医師に報告する様支援している。ご家族様にもその都度報告している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院された時は状態を速やかにご家族様と病院関係者と今後についての話し合いをする様努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化した場合についての説明と同意書にサインを頂いている。事業所として出来る事についても説明し、その上で職員、医療関係者と連携を図りながら支援していく。	事業所は看取りの事例が多く有り、重度化した利用者に対して積極的に支援を行い、かかりつけ医のもと、看護師及び関係者が協力し取り組んでいる。職員はマニュアルを基に、チームで実践に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員全員が対応出来る様マニュアル化して対応している。ミーティング時には確認の為に含めて対応の実践を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年二回の防火訓練は実施している。消防署員による実施訓練にも参加している。備蓄品も用意しており消費期限前には入れ替えている。	ハザードマップで緊急避難場所は、確認している。事業所内でも避難方法や場所を決め、年2回の消防訓練も利用者と共にしている。備蓄はローリングストックを行いながら、隣の事業所と協力し備えている。	

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様お一人お一人に対して尊厳を持って接する様努めている。月に一度のミーティング時には議題に上げ職員間で話合うようにしている。	利用者の人格を尊重するため、その人の生活歴を知る事で、家族から話を聞いたりしながら言葉がけも含め、日々の支援に努めている。職員はグループミーティングの中で、プライバシーについての対応や知識を再確認しサービスに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の意思を尊重し、無理強いや強制を行わないように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務を優先せず一人一人のペースに合わせて生活出来る様支援していく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には出来るだけご自分で整容して頂く様声掛けする。月に一度美容師が来られ散髪を実施している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	普通食が食べにくいご利用者様にはその人に合った食事形態で提供している。週に一度の自由食の日には普段の食事に出ないような品をお出し楽しんで頂ける様努めている。	食事は法人運営の配食を利用している。水曜日は自由食で、職員が手作りしている。また配食会議が設けられ、利用者のリクエストに応えられるよう工夫している。食事環境に於いてもイスの高さ(足置き)等調整し、気配りしながら楽しい食事出来るよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量、水分量はその都度記録に取り、それによって体重の増減を把握し、その人に合った食生活の支援をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、出来る所はご自分でして頂きその後は職員が確認しています。歯科往診もあり不具合があれば報告し治療して頂きご家族様にもお伝えしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>出来るだけトイレで排泄して頂く様に心掛けている。夜間のみポータブルトイレを設置し職員が誘導している。</p>	<p>トイレは各ユニットに3か所ある。トイレ内は広く前傾姿勢保持テーブルが設置され、利用者の残存能力を引き出している。何よりリハビリパンツから尿漏れ対応布パンツへ変更出来る利用者もいる。便秘の利用者には、トイレで腸マッサージを行う等、薬に頼らない支援を実践している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>お一人お一人に合った排便コントロールをしている。水分をしっかり摂取して頂き自然排便につながるよう支援していく。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>最低週二回提供している。機械浴もあり、一般浴が困難なご利用者様に提供している。出来るだけお一人お一人に合わせた時間等で入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴を楽しんで貰うために、入浴剤や季節にはゆずを浮かべ、変化のある楽しい入浴を支援している。入浴拒否の利用者には、個々の生活パターンに応じた支援を心掛けている。ヒートショック対策も、室温、湯温に気遣いながら入浴環境を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>入居前の生活習慣を把握し、出 来るだけ状態を変えず自然体で その人らしく生活される様支 援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>職員は一人一人の服薬内容を把 握し、飲み忘れや誤薬を防ぐ様 努める。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>日々の生活を楽しんで頂く様、 ご利用者様お一人お一人の生 活歴を知り、その人に合った 役割を見つけて提供する。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	<p>天気の良い日は職員と一緒に散 歩に出掛けたり、畑で野菜を収 穫したりと変化のある一日を過 ごして頂ける様支援している。</p>	<p>出掛ける事が困難な現在、職員 は”利用者が感じる外出”を考 え、外の風を楽しんで貰うため 、天気の良い日は猫を見に庭に 出たり、畑に出て外出気分を 味わい、時には写真を撮り家 族に送り、喜んでもらっている。 職員は外出する支援に取り組ん でいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>ご利用者様が望まれる品物を預 り金で買って来て提供している。 時には一緒に出掛けご自分で お金出される事もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族に電話してほしいと希望された際は取次ぎしている。暑中見舞い、年賀状も書ける所は書いて頂いてご家族様に送ったりとやり取り出来る様支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	日中はデイルームで過ごされておられる事が多い為、職員と一緒に壁画を作ったり、オセロ、将棋をしたりと思いい思いに過ごされる様支援している。	清掃は週3回法人の、外注クリーンスタッフが行っている。壁には利用者皆で作った季節の作品が飾ってある。デイルームと居室に繋がっている広く長い廊下は、散歩道として時には仲の良い利用者が、設置されたベンチでお喋りしている。事業所は利用者が居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ご利用者様2～3名で話をされたり、居室でテレビを見たりとお一人お一人がストレスにならない様な空間を作る様に努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	出来るだけ馴染みの家具や使い慣れた物を持ち込んで頂き、落ち着いた環境で生活して頂ける様支援する。	居室入口には花模様の飾りと小さめの名札がある。室内はエアコン、ベットが設置され、家具は使い慣れたものを持参している。利用者の中には小さな応接セットを配置したり、また好きな柴犬の写真を飾る利用者もいる。職員は心地よく過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自立支援の為、最小限の介護を行うようにしている。事故や怪我等の無いよう安心、安全に生活して頂く様支援していく。		

V アウトカム項目(花咲楼 1F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念「相手本位の心」に基づきご利用者様には尊厳をもって受容と寛容の心で接していく。常に初心に戻る様、月一回のミーティングで議題にあげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	毎年地域の保育園の運動会に参加したり、夏祭りを開催し地域交流を深めていたがコロナ禍により中止を余儀なくされる。現在では近隣の方たちと挨拶を交わしたり、回覧板を持って行った際に言葉を交わすことを常に心掛けている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会にも月一回参加していたが、二年開催されず。ご利用者様のご家族が町内会の方の為、電話をして近況を聞いたり報告するよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議が開催できる月と出来ない月があり、ご家族様にアンケート用紙を送り、それを基に運営推進会議録を作成しご家族様に送付しご理解頂ける様努めた。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市町へ出向く事が困難な為、必要時には電話等して連携が取れる様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を設置しており、毎月ミーティング時に身体拘束について話し合いをする様に努めている。玄関等の扉は防犯上の理由からも電子ロックを使用している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待はどこまでを虐待というのかミーティング時以外でも話し合える状況を作っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、グループホーム花咲楼では三名のご利用者様が成年後見制度を用いている。時間がある時は学ばせてもらっている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際には内容をしっかりご説明し、ご質問にもご納得頂けるようお答えしている。リスクについてもご説明し同意書を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>来訪時や運営推進会議等でご家族様より頂いたご意見は真摯に受け止め、職員で共有し見直していく。ご意見箱も設置しており、どのような内容でも有難く頂き今後の運営に反映させていく。</p>		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度のミーティング以外でも職員からの意見や要望があり、その都度対応している。定期的に面談も実施しており、その中で出た内容も職員で共有し質の向上を目指す為の意見交換をしていく。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	半年毎に個人評価表に記入して頂き、それを基に職員一人一人のやりがいや職場に対しての思い、意見を聞く場を設けている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内外での研修はリモートで開催されている。質の向上を目指し研修で得た事は職員一人一人が技術や知識を身に付けていけるよう支援します。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他同業者と現在の入居状況についての情報交換をする事もあり、交流の場を広めていく様、取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様、ご家族様から要望等が出た時は耳を傾けご納得頂ける様ご説明し、ご家族様と施設側との信頼関係を築いていく様に努める。		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様が困っている事、不安に思っておられる事を受け止め理解出来る様なご家族様との信頼関係を築いていく。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	サービス開始した時点で今まず何が必要かを本人、ご家族、職員、ケアマネージャーと情報を基にご本人様にとって必要な支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員とご利用者様という一くりにしないでお互いが共に過ごし学びあえる関係性を築ける様支援していく。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人様にご家族に電話したい、話したいと話された時は職員が素早く対応している。長らく連絡のないご家族様には施設側から連絡を取り、近況をお伝えしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	出入りが現在困難な為、リモートで会話したり、手紙を出したりと馴染みの人との関係継続に努める。		

自己評価	外部評価	項 目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日中は出来るだけデイルームで過ごして頂き職員を交えて折り紙を折ったり等、ご利用者様が孤立せずに共に楽しめる要支援していく。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設へ行かれたご利用者様の近況を聞いたり、ご家族様からの相談事にフォローしたりと支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員一人一人がご利用者様の思いや意向に関心を持ち、困難となった場合は話し合せて意見を出し合せて取り組んでいく様支援していく。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活歴をしっかりと把握し、自分らしく暮らしていきご利用者様と職員が馴染みの関係になる様支援していく。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	その人らしい過ごし方の中で、変化や気づきにいち早く見抜ける目を養っていく様努める。		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>カンファレンスの際は看護師と担当職員、ケアマネージャー、管理者同席の上ご家族様、ご利用者様の意向を聞きながら支援している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に日々の記録を細目に記入している。職員間で共有し、介護計画書に活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>常にご利用者様のニーズに対応出来る様柔軟な支援を心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域保育園に出掛けたり買い物に出掛けたりしていたがコロナ禍の中、地域の方との交流が出来ておらず職員が入り出す際に挨拶する様努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>定期的に主治医の往診があるが、ご利用者様、ご家族様の意向でかかりつけ医での医療を受けられる様支援します。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は日々のご利用者様の変化、異常と感じた事は速やかに看護師、医師に報告する様支援している。ご家族様にもその都度報告している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院された時は状態を速やかにご家族様と病院関係者と今後についての話し合いをする様努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化した場合についての説明と同意書にサインを頂いている。事業所として出来る事についても説明し、その上で職員、医療関係者と連携を図りながら支援していく。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員全員が対応出来る様マニュアル化して対応している。ミーティング時には確認の為も含めて対応の対応の実践を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年二回の防火訓練は実施している。消防署員による実施訓練にも参加している。備蓄品も用意しており消費期限前には入れ替えている。		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様お一人お一人に対して尊厳を持って接する様努めている。月に一度のミーティング時には議題に上げ職員間で話合うようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の意思を尊重し、無理強いや強制を行わないように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務を優先せず一人一人のペースに合わせて生活出来る様支援していく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には出来るだけご自分で整容して頂く様声掛けする。月に一度美容師が来られ散髪を実施している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	普通食が食べにくいご利用者様にはその人に合った食事形態で提供している。週に一度の自由食の日には普段の食事に出ないような品をお出しし楽しんで頂ける様努めている。		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量、水分量はその都度記録に取り、それによって体重の増減を把握し、その人に合った食生活の支援をします。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、出来る所はご自分でして頂きその後は職員が確認しています。歯科往診もあり不具合があれば報告し治療して頂きご家族様にもお伝えしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>出来るだけトイレで排泄して頂く様に心掛けている。夜間のみポータブルトイレを設置し職員が誘導している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>お一人お一人に合った排便コントロールをしている。水分をしっかり摂取して頂き自然排便につながるよう支援していく。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>最低週二回提供している。機械浴もあり、一般浴が困難なご利用者様に提供している。出来るだけお一人お一人に合わせた時間等で入浴の支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>入居前の生活習慣を把握し、出 来るだけ状態を変えず自然体で その人らしく生活される様支 援します。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>職員は一人一人の服薬内容を把 握し、飲み忘れや誤薬を防ぐ様 努める。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>日々の生活を楽しんで頂く様、 ご利用者様お一人お一人の生 活歴を知り、その人に合った 役割を見つけて提供する。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。</p>	<p>天気の良い日は職員と一緒に 散歩に出掛けたり、畑で野菜 を収穫したりと変化のある一 日を過ごして頂ける様支援し ます。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>ご利用者様が望まれる品物を 預り金で買って来て提供してい る。時には一緒に出掛け自分 でお金出される事もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(花咲楼 2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族に電話してほしいと希望された際は取次ぎしています。暑中見舞い、年賀状も書ける所は書いて頂いてご家族様に送ったりとやり取り出来る様支援します。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	日中はデイルームで過ごされておられる事が多い為、職員と一緒に壁画を作ったり、オセロ、将棋をしたりと思いいいに過ごされる様支援します。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	天気の良い日は職員と一緒に散歩に出掛けたり、畑で野菜を収穫したりと変化のある一日を過ごして頂ける様支援します。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご利用者様が望まれる品物を預り金で買って来て提供している。時には一緒に出掛けご自分でお金出される事もある。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご家族に電話してほしいと希望された際は取次ぎしています。暑中見舞い、年賀状も書ける所は書いて頂いてご家族様に送ったりとやり取り出来る様支援します。		

V アウトカム項目(花咲楼2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム花咲楼

作成日 令和4年 3月 23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域の交流がコロナ禍の中ではあるが少ない様に思う。	グループホームの存在を今以上に認識して頂き、地域に溶け込み、災害が起きた際には協力を得たい。	ご利用者様と散歩に出掛けたりした際、地域の方と声を掛け、会話を楽しむ。地域のコミュニティに参加出来る内容があれば積極的に参加する。	6か月
2	10	ご利用者様には担当職員がいるが、ご利用者様の変化に気付ける様、日頃から観察力を養っていく。	管理者、ケアマネ、看護師に、ご利用者様の変化を報告し、状態を知り全員で共有する。	出来るだけ時間を作り、ご利用者様とコミュニケーションをとる様にする事により、気付きを発見できる。	1か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。